

# 東海精密板金加工 技術ニュース

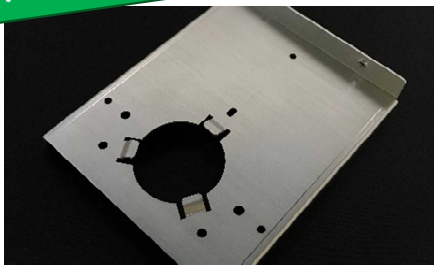
## 精密板金加工技術をさらにランクアップさせる最新設備導入のお知らせ！

今月も、当社で取り組んでいるアルミの精密板金加工事例について取り上げます。先日は、掲載事例として4つの事例を紹介していました！本号では各事例について“サイズ”、“板厚”、“材質の詳細名称”等について紹介をしていきます。今月は主に“アルミ精密カバー”、“アルミの多段曲げ加工”の計4事例について紹介をしています。アルミの板金加工品について検討されている方には、ぜひとも読んでいただければと思います。

また、今後はアルミの溶接を含めたより難しい加工事例についても紹介を行っていきます。アルミは軽量化など、時代ニーズに適した材料の為、多くの市場で使用用途は広がりを見せると当社では考えており、お客様からは製品化を検討中の製品やアルミの加工形状でお困りの加工品についてご相談・お問い合わせをいただければと思います。アルミの薄板板金・精密板金加工でお困りの場合には、東海進研にお問い合わせを！

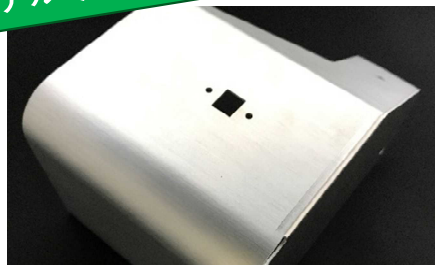
## アルミの精密板金カバー厳選2事例を掲載！！

### アルミ製作事例①



OA機器で使用するCCDベース	
サイズ	H120 x W110 x D40
板厚	t = 1.0mm
材質	A5052

### アルミ製作事例②



OA機器で使用するカバー/L	
サイズ	H80 x W125 x D40
板厚	t = 1.0mm
材質	A5052

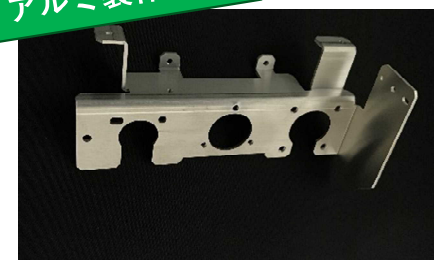
## アルミの精密板金多段曲げ加工事例厳選2事例を掲載！！

### アルミ製作事例③



OA事務機器で使用するCCDベース	
サイズ	H120 x W100 x D25
板厚	t = 1.0mm
材質	A5052

### アルミ製作事例④



OA事務機器で使用するCCDフレーム	
サイズ	L130 x W65 x D50
板厚	t = 1.5mm
材質	A5052

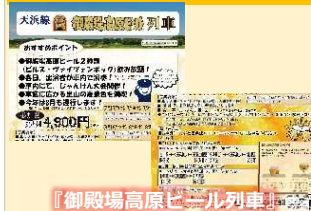
## 精密板金加工技術の勘所 第14回ーアルミの溶接組立 Part II ー

今回もアルミの溶接組立に関するご紹介をいたします。アルミの溶接というのは、一般的な鉄系材と比較して加熱中に酸化しやすく、熱伝導も高いために歪みが起きやすい材質と言えます。当社の製造するアルミの薄板カバー等の場合には、この材質特性の結果、寸法精度等を出しにくく、品質を安定させることが難しくなってしまいます。つまり、アルミの高精度精密板金品は加工対応可能なサプライヤーは少なく、当社のように加工ができる企業は少ないのです。

- (1) 加熱中、酸化しやすい
- (2) 母材の表面に酸化膜がある
- (3) 熱集中性が悪く、融点が低い
- (4) 溶け落ちしやすい
- (5) ひずみ易い
- (6) フローホールを生じやすい
- (7) 溶接割れ傾向が大きい

アルミ材の溶接組立品  
製造ネック

## 【連載コラム】天浜線の車窓から ～天浜線 御殿場高原ビール列車～



今月の天浜線の車窓からは、毎年開催されている“天浜線 御殿場高原ビール列車”が開催されます。こちらのイベントは天浜線に乗り、約2時間、ビール飲み放題で、社内では地元に関係のあるミュージシャンの生演奏もあります。昨年は、7月だけでしたが、今年は8月にも開催されるイベントとなります。この夏の思い出にいかがでしょうか？

## 精密板金加工技術ニュース

発行：株式会社 東海進研

東海進研が運営する精密板金加工の技術専門サイト

【産業機器・装置 精密板金加工.COM】

〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣1603

TEL：053-925-6063 FAX：053-925-4789

産業機器 精密板金

検索